

レベル2の学習プラン：聖書の偉人：アブラハム

保護者や先生の方々へ：アブラハムについての学習プランでは、以下のポイントを学習します。

- 聖書の偉人の生き方について、くわしく学ぶ。

アブラハムについて、子供達が知っていることを話し合ってみる。

ミュージック・ビデオ「アブラハム」を見る（挿入歌は英語ですが、映像は十分楽しめるでしょう）。

「聖書の偉人：アブラハム」を読む。

アブラハムの人生について短く要約された聖書物語があれば、それを読む。

創世記第13章の、アブラハムが口トに牧草地を選ばせてあげた物語を読む。

アブラハムが口トに、最も良い土地を選ばせてあげたことについて、話し合う。アブラハムは族長であり、もともとこの旅を計画したのも、旅に加わるように口トを誘ったのもアブラハムであることから、アブラハムが自分自身の家族のために最も良い土地を選ぶ権利はあったし、そうすることはたやすいことだった。それでもアブラハムは甥の口トを優先したので、神様はアブラハムの惜しみなく与える心に報いて下さった。

「ヘブル人への手紙第11章の冒険物語、パート2」の5-6ページを読む。アブラハムは神様に従って、約束の地へと向かう。神様がアブラハムと結んだ、彼の子孫に関する契約について。

創世記の第22章1-18節で、神様がアブラハムに求めた大きな犠牲について読む。または、「ヘブル人への手紙第11章の冒険物語、パート3」の1ページに短い要約があるので、それを読んでもよい。

上記の物語を読み、自分がアブラハムの立場だったらどう思うか、子供達といっしょに考えてみる。多くの子孫を与えると神様が約束して下さってから子供ができるまで長年待って、やっと授かった息子を、今度は神様にお返しするようにと求められた時、神様に従うようにとアブラハムを突き動かしたものは、何だろう？

アブラハムが「信仰の父」と呼ばれる理由について、話し合ってみる。

歴代志下の20:7とイザヤ書の41:8とヤコブの手紙2:23を読む。これらの各聖句には、アブラハムが「神の友」として記されている。良い友情とは、どんな要素から成り立つものなのか、意見を出し合ってみる（例：信頼、忠義、率直さ、いっしょに時間を過ごすこと、など）。そして、アブラハムと神様の関係がそのようなものであったことについてや、私達の神様との関係もそのようになり得ることを、話し合ってみる。ヨハネによる福音書の15:14も参考に。

「聖書の偉人のぬり絵：アブラハム」をする。

「聖書の偉人クイズ：アブラハム」をする。

追加の学習教材：

- 絵で見る聖書物語など、アブラハムについての子供向けの絵入り聖書物語を読む。
- 映画「アブラハム」（1993年）を見る。

この主題を教えるに当たって、他にも補助教材となりそうなアイデアやアクティビティ案などあれば、
どうぞ送って下さい。皆さんからのお便りを楽しみにしています。

寄稿：マイ・ワンダー・スタジオ・スタッフ Copyright © 2012年、ファミリーインターナショナル
"Level 2 Lesson Plan: Hero of the Month: Abraham"--Japanese